

平成15年3月期 第3四半期業績概況

平成 15年 2月 7日

上場会社名 株式会社 ミスミ
 コード番号 9962
 (URL <http://www.misumi.co.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 三枝 匡
 問合せ先責任者 ファイナンス室長 樋沼 国寿

上場取引所 東
 本社所在都道府県
 東京都

TEL (03) 3647 - 7124

1. 四半期経営成績の作成等に関する事項

連結財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準

・ 会計処理方法の変更の有無 : 無

・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 有

内容 法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、引当金の計上基準などの会計処理については一部簡便的な方法によっております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (連結(新規)3社)

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 経営成績(連結)の進捗状況(平成14年4月1日~平成14年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	42,595	5,094	5,089	2,776
(参考)14年3月期(通期)	51,643	4,938	4,988	2,543

	1株当り当期純利益	潜在株式調整後 1株当り当期純利益
	円 銭	円 銭
15年3月期第3四半期	104.78	104.73
(参考)14年3月期(通期)	95.49	95.24

(注) 四半期決算の開示は、当第3四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載しておりません。また、前年第3四半期との比較についても行っておりません。

3. 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当り株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期第3四半期	33,901	26,705	78.8	1,007.61
(参考)14年3月期(通期)	32,202	24,521	76.1	924.91

(注) 四半期決算の開示は、当第3四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載しておりません。また、前年第3四半期との比較についても行っておりません。

4. 四半期(単体)経営成績等の概況(平成14年4月1日~平成14年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	40,691	4,782	4,816	2,576

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	33,495	26,574

5. 15年3月期の業績予想(連結)(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	57,000	5,940	3,290	124.14

15年3月期の業績予想(単体)(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	54,300	5,660	3,130	118.10

上記の予想は本資料の決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 平成15年3月期 第3四半期単体業績概況(9か月間の累計)

当第3四半期(平成14年4月1日から平成14年12月31日まで)の売上高は、メカニカル事業部やフォーミング事業部といった主力事業部で受注が好調に推移した結果、406億91百万円(対当初計画比1.1%増)と前年同期に比べ33億87百万円(9.1%)の増加となりました。利益については、前中間期に引き続いて経費の抑制に努め、営業利益47億82百万円、経常利益は48億16百万円、当期純利益は25億76百万円となりました。

メカニカル事業部

メカニカル事業部は、F A 部品の納期管理の厳格化を背景とした顧客の短納期化要請という追い風もあり、液晶パネルや半導体、自動車関連顧客を中心に好調を維持しました。この結果、売上高は133億2百万円(対当初計画比3.7%増)となり、前年同期に比べ25億14百万円(23.3%)の増収となりました。

フォーミング事業部

フォーミング事業部は、厳しい経済情勢が続く中、積極的な販売促進策が奏功したこともあり、自動車関連顧客を中心に業績は堅調に推移しました。この結果、売上高は165億14百万円(対当初計画比0.9%増)となり、前年同期に比べ4億69百万円(2.9%)の増収となりました。

エレクトロニクス事業部

エレクトロニクス事業部は、配線部品事業分野で顧客数の大幅な増加とこれによる受注増により大幅な成長を続けているものの、制御用P C 事業分野で大顧客を中心に受注が低迷した結果、全体ではほぼ計画通りに推移しました。これにより、売上高は41億48百万円(対当初計画比0.3%増)となり、前年同期に比べ1億69百万円(4.3%)の増収となりました。

その他事業

ツーリング事業部は、カタログ発行の遅れによる販売不振が響き、売上高は14億67百万円(対当初計画比4.3%減)となり、前年同期に比べ51百万円(3.4%)の減収となりました。

ビジュアルメディア事業部は、消費不況に伴う商業用印刷物の発注減や単価の大幅な下落を背景とした顧客数・単価の下落が続いており、売上高は21億56百万円(対当初計画比10.4%減)となり、前年同期に比べ27百万円(1.2%)の減収となりました。

メディカル事業部は、動物病院市場において固定客による安定した受注が続くとともに、新規カタログの投入など販売促進策が奏功した結果、売上高は13億51百万円(対当初計画比5.2%増)となり、前年同期に比べ1億22百万円(10.0%)の増収となりました。

フード事業部は、外食産業全般が厳しい環境にある中、新カタログや新商品投入などの営業施策を行った結果、売上高は17億54百万円(対当初計画比2.3%増)となり、前年同期に比べ3億5百万円(21.1%)の増収となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は67億28百万円(対当初計画比3.0%減)となり、前年同期に比べ3億48百万円(5.5%)の増収となりました。

7. 財務諸表（単体）

四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

期 別 科 目	当第3四半期会計期間末 (平成14年12月31日現在)		前事業年度末 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%
・流動資産				
1. 現金及び預金	5,349		5,635	
2. 受取手形	3,945		3,499	
3. 売掛金	9,052		8,252	
4. 有価証券	3,110		3,061	
5. たな卸資産	3,543		3,248	
6. その他	452		473	
貸倒引当金	71		60	
流動資産合計	25,383	75.8	24,110	75.6
・固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	967		1,020	
(2) 土地	187		187	
(3) その他	407		477	
有形固定資産合計	1,563	4.7	1,685	5.3
2. 無形固定資産	845	2.5	961	3.0
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	3,989		3,422	
(2) 保険積立金	562		540	
(3) その他	1,328		1,330	
貸倒引当金	178		178	
投資その他の資産合計	5,702	17.0	5,115	16.1
固定資産合計	8,111	24.2	7,762	24.4
資産合計	33,495	100.0	31,872	100.0

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期会計期間末 (平成14年12月31日現在)		前事業年度末 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
・流動負債				
1. 買掛金	3,181		3,184	
2. 短期借入金	800		800	
3. 未払法人税等	996		1,294	
4. その他	979		1,144	
流動負債合計	5,957	17.8	6,423	20.1
・固定負債				
1. 退職給付引当金	567		551	
2. 役員退職給与引当金	395		368	
固定負債合計	963	2.9	919	2.9
負債合計	6,920	20.7	7,343	23.0
(資本の部)				
・資本金	2,076	6.2	2,064	6.5
・資本剰余金				
資本準備金	3,149		3,137	
資本剰余金合計	3,149	9.4	3,137	9.8
・利益剰余金				
1. 利益準備金	402		402	
2. 任意積立金	18,200		16,226	
3. 四半期(当期)未処分利益	2,774		2,768	
利益剰余金合計	21,377	63.8	19,397	60.9
・その他有価証券評価差額金	5	0.0	55	0.2
・自己株式	23	0.1	14	0.0
資本合計	26,574	79.3	24,529	77.0
負債・資本合計	33,495	100.0	31,872	100.0

四半期損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科 目	当第3四半期会計期間 （自平成14年4月1日 至平成14年12月31日）		前事業年度 （自平成13年4月1日 至平成14年3月31日）	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
・売上高	40,691	100.0	49,697	100.0
・売上原価	27,107	66.6	33,605	67.6
・売上総利益	13,583	33.4	16,091	32.4
・販売費及び一般管理費	8,801	21.6	11,407	23.0
・営業利益	4,782	11.8	4,684	9.4
・営業外収益	79	0.2	257	0.5
・営業外費用	45	0.1	74	0.1
・経常利益	4,816	11.8	4,867	9.8
・特別損失	295	0.7	526	1.1
税引前四半期（当期）純利益	4,520	11.1	4,340	8.7
法人税、住民税及び事業税	1,943	4.8	1,941	3.9
法人税等調整額	-	-	108	0.2
四半期（当期）純利益	2,576	6.3	2,507	5.0
前期繰越利益	489		525	
中間配当額	291		264	
四半期（当期）未処分利益	2,774		2,768	